

South Wind

サウス ウィンド Sep.2017 Vol.91

特集

宮崎在住の外国人に聞きました！ ～宮崎ってどんなところ？～



Contents/ 目次

宮崎在住の外国人に聞きました！ ～宮崎ってどんなところ？～	2
多文化共生社会をめざして ～ラマダン月の1日の様子／ラマダンテントに行ってきました！～	4
Hear! Here Voices ～ダオ ホン リエンさん（ベトナム出身）～	5
JICA ぼーへんにゃん	6
宮崎県国際交流協会ニュース	7
INFORMATION	8

宮崎で知り合った友人がベトナムに遊びに来てくださいました。熊本地震で被災したときも電話をくれ不安が和らぎました。

ダオ ホン リエンさん（ベトナム出身）

☆リエンさんの熊本地震の経験談が p.5 に掲載されています。



公益財団法人 宮崎県国際交流協会
<http://www.mif.or.jp/>

特集

宮崎在住の外国人に聞きました! 宮崎ってどんなところ?



ご協力いただいた方の出身 (順不同)



コロンビア エジプト オーストラリア 中国 アメリカ フィリピン モロッコ シンガポール 韓国 スペイン 台湾 インドネシア カナダ アイルランド

宮崎に来て驚いたことを教えてください!

- ・外国人がめずらしいのか、ジロジロ見られたり、隠し撮りをされたことがあります…!
- ・来日してしばらく大阪に滞在していました。宮崎に来て最初に気がついたことで驚いたのは、英語が大阪ほど通じないことです。驚きというほどではありませんが、買い物や交通などが不便だと思いました。
- ・虫の大きさと種類です！
- ・予想していたよりも日本の女性がよくお酒を飲み、たばこを吸うこと。鳩がたくさんいることにも驚きました。
- ・道路が広くて平屋が多いこと。また、お年寄りが多くバスの便が少ないとことにも驚きました。
- ・宮崎弁のイントネーションに驚きました！あとは杉がたくさんあって、形がまるでおもちゃの木のようだと思いました。
- ・宮崎に限りませんが、大学でも「こんにちは」より「おつかれさまです」という言葉をよく使うことに驚きました。最初は、「～す」「～す」としか聞こえず、何を言っているのか全然分かりませんでした。
- ・活き造りです！レストランで生の伊勢エビが運ばれてきたのですが、机に置かれたときにエビの身が動いてすごくピックリしました！
- ・人がとても親切で、他の人の気持ちを考えていること、そして仕事やバス、列車などが時間に正確なことに驚きました。
- ・私の国と比べてとても静かでとても清潔なところです。
- ・紫外線対策で女性が厚塗りをした上、顔にかぶりものをし長袖を着ていること。
- ・人々がとても規律正しいところ。ちゃんとルールに従い礼儀正しく親切なところ。
- ・皆のんびりしていること（競争が激しくない）。宮崎タイムがあること（笑）。雲一片もない青空が広がっていること。
- ・宮崎に限りませんが、学校で先生と生徒が一緒に食事を取ること、職場で全員が一斉に食事を取ることに驚きました。
- ・交通の不便さ（車社会宮崎！）。そしてカラスに襲われたこと！
- ・冬になると樹木を何かで巻いていたこと。
- ・簡単にどこにでも自転車で行くことができ、あまり人が行かない美しいビーチがあること。
- ・横断歩道で車が止まらないこと（宮崎のテレビでもこのことは放送されていました！）。自転車が交通ルールを守らないこと。

宮崎の魅力を教えてください！

- ・優しい人がいっぱいいます。宮崎の人はいつも私と笑顔で話してくれ、私の日本語を褒めてくれます。また、私の一番好きな色が緑色なのですが、宮崎は緑がいっぱいです。
- ・自然に恵まれ、大きな事件もなく街も騒がしくないなど、落ち着いた生活ができるところです。人が優しく温かいです。助けてくれる人にもたくさん出会いました。
- ・外国人に対する差別意識があまりないところです。そして生活費が安いところです。
- ・いろいろな野菜を買うことができる！
- ・海と秋空がきれいなところ。寿司と刺身もおいしいです！
- ・自然がいっぱいです。冬は暖かいところです。また、新鮮な農産物がいっぱいです。
- ・宮崎の人は宮崎には何もないから…と言うけれど、食べ物には誇りを持っている。その食べ物こそが魅力だと思います。
- ・なんといっても天気です。温暖な気候が魅力です。
- ・静かな場所にすぐ行けること。
- ・宮崎の魅力はいっぱいありますが、自然環境が本当に素晴らしいです！宮崎が大好きです。
- ・宮崎はきれいで静かで暖かく、そして皆さんとても優しいです。
- ・安くておいしいレストランがあるところ。
- ・「のんびり」、「ゆるゆる」。競争が激しい現代社会、時間に迫られ、仕事に追いまくられ大変ですが、宮崎ではのんびり平和に過ごせるから癒されることが多いです。青空を眺めるだけでも癒されます。

(公財)宮崎県国際交流協会とつながりのある外国人に聞きました！「宮崎ってどんなところですか？」
宮崎に住む外国人の皆さんの中に宮崎はどのように映っているのでしょうか？宮崎人が気付かない宮崎の新しい一面が見えてくるかもしれません！



PICK UP!

田島 エスペランサさん

コロンビア出身
宮崎在住歴 30年



宮崎では、道で知り合いに会うと「どこ行くと～」「何歳ね～」などコロンビアではしない質問をされます。また、バスの運転手が制服を着てピシッとしているにも驚きました！コロンビアのバスの運転手は普段着です。宮崎では、ほとんどの用事をするのに自転車で安全に移動できるのが魅力だと思います。また、海や山、川などの美しい自然がたくさん身近にあるのも魅力ですね！

ヘイリー クロスターさん

オーストラリア出身
宮崎在住歴 1年



宮崎に来る前に蒸し暑い天気について聞いていましたが、空港を出た時にショックを受けました。まるでお風呂に入っているみたいです！宮崎は食べ物が安く、自動販売機がいっぱいあります。でも、メルボルンと比べると電車の切符が高いです。宮崎の魅力は日向夏とチキン南蛮です！オーストラリアの海が懐かしくなる時がありますが、青島に行くと嬉しくなります。毎月何回も行っています！

デシリー アイリス アン

レカロズさん
フィリピン出身
宮崎在住歴 5ヶ月



私の一番のお気に入りの場所は橋通りです。橋通りにはエンターテインメント、ビジネス、そしてショッピングエリアがあり、バスの便もよいです。毎週金曜日はバーなど人で賑わっていて楽しいです。二番目に好きな場所は高岡温泉です。雰囲気も素敵で、リラックスできます。そして、最後のお気に入りの場所は垂水公園です。特に、3月の終わりから4月にかけてがパーカークト！通り沿いに並ぶ桜がとても素敵です。

宮崎のお気に入りの場所を教えてください！

- ・鵜戸神宮です。明るい赤色が素敵です。また、眺めもきれいで面白い歴史があり、日向夏アイスが買えます！
- ・加江田渓谷が好きです。緑が多く渓流があり、その水音を聞きながら散策できるのが魅力です。珍しい植物や古いトロッコの軌道もあるなど、歩きながらいろいろなことを思わせてくれる場所、気持ちに安らぎを与えてくれる場所です。
- ・高千穂峡の自然と日南海岸、特に白浜ビーチと鬼の洗濯板が好きです。
- ・私のお気に入りの場所は内海です。海岸と海がきれいです。
- ・みやざき臨海公園や青島で海を見ることが好きです。
- ・シーガイアとサンビーチツツ葉エリアが一番のお気に入りです。森と海が整備されていて、安心して子供を連れて遊びに行けます。
- ・宮崎市街にある「人情横町」が好きです。灯籠があつて異国情緒な雰囲気に惹かれます！
- ・ゴルフが好きなので、宮崎のゴルフコースがお気に入りの場所です。
- ・大淀川河畔を歩いたり、サイクリングをすることが好きです。朝日を見たり、とても静かでリフレッシュできます。
- ・青島のビーチと温泉、垂水公園、そしてサンメッセ日南がお気に入りです。どの場所もリラックスできます。
- ・サンビーチツツ葉です。日の出を見たり、運動のために自転車で行ったりするのが好きです。
- ・サンメッセ日南がお気に入りです。緑や広々とした青い海が一目で眺めることができるところで、ピクニックシートを敷いて持ってきたお弁当を食べたり本を読んだりごろごろしながら時間をつぶすのはとても楽しいです。
- ・景色が美しい綾町と、きれいなビーチがあって波も高くない富士や南郷がお気に入りです。
- ・日向の馬ヶ背やクルスの海の雄大な景色が好きです。

番外編！海外生活を終えた宮崎人に聞きました！帰国して感じた逆カルチャーショックは？

- ・小学生が1人で歩いていること。アメリカでは登下校、そして公園に行くときも親が付き添います。
- ・ゴミ箱が街中になまりないことに驚きました。
- ・ティッシュが無料で手に入り、レストランや食堂でも無料で水が飲めること。
- ・家の中にゴミ箱が多いこと（ルーマニアは家の中にあまりゴミを置かない）。
- ・車に乗っている子どもがシートベルトを着用していないことが多い。アメリカではとても厳しく取り締まります。
- ・バスの中で流れるアナウンスがとても親切でゆっくり走ること。住んでいた国はアナウンスもなければバス停の名前もなく、下りるときはドアを叩いて主張しなければならない、そしてハイスピード…最初はとても大変でした。
- ・アメリカの保育園では「You can do it」、日本の保育園では「Don't do it」が基本になっていること。
- ・コンビニが多いこと！いろいろな物がどこでもすぐ手に入り便利すぎるところ。また時間に厳しく、時間に追われながら生活していること。

多文化共生社会をめざして！

平成28年12月現在、宮崎県には5,100名（79か国・地域）の外国人が暮らしています。様々な文化背景を持つ人々と違いを認め合い、誰もがいきいきと心豊かに暮らせる地域社会をつくるには、お互いを「知る」ことが大切です。今回は、日本ではまだ馴染みのないイスラム教を信仰する人々のラマダンの様子を少しのぞいてみましょう！

ラマダン月の1日の様子

※2017年6月11日～12日の例です。

※2017年のラマダンは5月27日～6月25日でした。
※イスラム暦では日没が1日の始まりとされます。

ラマダンとは？

イスラム暦の9番目の月のこと。イスラム教徒（ムスリム）にとって聖なる月。ラマダン月にムスリムは夜明け（ファジュル）から日没（マグリブ）にかけて断食を行います（断食以外にも禁止事項があります）。ちなみにイスラム暦は太陰暦なので、毎年ラマダンの時期は変わります。ラマダン月が終わると、日本のお正月のように盛大にお祝いします。



ナツメヤシとコップ1杯のお水で断食状態を断つのが良いとされています。

夜明け前に、断食前の最後の食事をとります。

子どもや妊婦、旅行者などは断食をしなくても大丈夫。しかし、何らかの理由でできなかつた人は、後日できなかつた分の断食を行うと良いとされています。

6月11日に宮崎大学で開催された「ラマダンテント」に行ってきました！

☆「ラマダンテント」は、イスラム文化について少しでも県民の方に理解いただければとの思いで、ムスリムコミュニティー宮崎の方々が毎年ラマダンの時期に開催しているイベントです。イフタール（断食明けの食事）のふるまいや、イスラム文化についての講話を聞くことができます。



たくさんの
イフタールを
準備する
ムスリムの皆さん

プログラム

- ・コーラン（イスラム教の聖典）朗誦
- ・ムスリムコミュニティー宮崎会長のあいさつ（①）
- ・宮崎大学学長のあいさつ
- ・ラマダンについての講話（②）
- ・断食終了／イフタール（③）
- ・日没後の礼拝（④）



ムスリムの方に質問！

Q あなたにとってラマダンとは？

- ・断食することで貧しい人々の気持ちを理解する期間であり、礼拝や喜捨など善行に努める期間です。
- ・健康のためにもラマダンに断食をすることは良いことだと思います。

Q 日本でラマダンを過ごす上で大変なことはありますか？

- ・母国よりサフールの時間が早く、その時間に起きるのが大変です！
- ・ラマダンは大変ではないのですが、やはり宮崎でハラールフード（イスラム的な処理が施された食品）を手に入れるのが大変ですね。



①「ムスリムと県民の皆さまがお互いを知り、交流できる場になればうれしいです。」と話された会長のアセッパンさん。



③ムスリムの皆さんと県民の皆さんは、楽しそうに交流しながらイフタールを食べていました。



④宮崎大学のイスラム文化研究交流棟にてお祈りをする人々。



会場に並べられた料理（インドネシア料理・アフガニスタン料理など）は全てムスリムコミュニティーの方々が準備してくださいました。

Hear! Here Voices

【プロフィール】

ベトナム・ホーチミン出身。

2009年来日。2012年から2015年まで宮崎で暮らした。

2015年より熊本在住。熊本地震を経験。



ダオ ホン リエンさん

■ 地震が起きた時、何をしていましたか。

1回目の地震の時はお風呂に入っていました。2回目の時は寝ていました。

■ 地震の時の様子を教えてください。

1回目は今まで経験した中で一番大きな地震でしたが意外に被害も無く、不謹慎ながら面白いと思ったり、こんなものかという感じでした。

2回目は寝ていたので揺れが収まるまで待っていたのですが、ずっと揺れ続けました。しまいにはオルゴールが鳴り始めて、しかもずっと鳴り続けて、すごく不気味に感じました。このオルゴールは宮崎県国際交流協会で知り合った方から頂いたもので、早く逃げるようにとのメッセージだったのかもしれません。私はすごく怖くて、物が倒れている中、夫と一緒に逃げました。外は停電しており、配水管も破損して水が噴出していました。地鳴りもすごかったです。

■ 地震で困ったことはありましたか。

夫が仕事で不在だったので、一人ですごく不安でした。1回目が大した被害ではなかったので安心していたのですが、何度も繰り返す余震で怖くなり、避難所に逃げようにもよく分からぬし、夫にも連絡がつかないし、連絡が来ないし、何をしたらいいのか不安でたまりませんでした。

たまたま向かった場所が避難所で、そこで知り合った上元さんと一緒に行動しました。一人でいるより心強かったです。

■ 情報はどこから得ていましたか。

最初は一緒に行動していた上元さんのラジオです。その後は自分のラジオやスマートフォンです。

■ こんな助けがあればよかったと思ったことはありますか。

- ・地震が起きて、まず何をしたらいいのか、避難所でどんな手続きがあるのか、何を配布してくれているのか、手順が書かれた分かりやすい紙などが貼ってあつたり説明があつたりすれば、もっとスムーズに行動できたのにと思いました。
- ・毎朝ラジオ体操が行われて良かったですが、気分転換できる活動などあればもっといいなあと思いました。

■ 現在地震に備えて対策はしていますか。気をつけていることはありますか。

- ・保存水・非常食やラジオなどをリュックに入れておきました。地震前は必要ないと思っていましたが、いざという時に役立つことが分かりました。
- ・家具が簡単に倒れないように工夫しました。倒れやすい本棚などを処分しました。
- ・寝室に家具や危ない物を置かないようにしました。
- ・事前に避難所を確認しておくこと。

■ 地震を経験して感じたこと、伝えたいことはありますか。

恐怖と寒さで凍えている中、毛布を貸してくれたり、コートや靴下を譲ってくれたり、食事の準備をしてくれる方がいたり、色々な方が助け合いの気持ちで動かれていました。また、遠方からたくさんの方が応援に来てくださいました。その中に宮崎県国際交流協会で知り合った方たちもいて、連絡をいただいて、不安と緊張の毎日でしたが、少し和らぎました。非常事態に助け合いの気持ちで動かれていることに、ベトナムで地震を経験したことが無い私は感動し、心が和みました。思いやりや助け合いは本当に大事だと感じました。

それと、自分が生きているときに大地震は起こるんだと思って、危機感を持って、具体的な対応策を練り、準備しておく必要があると思います。



配水管の漏水。(丸で囲んだ部分)
ガスも使えなくなりました。



本震の夜。寒かったです。



配食の行列、皆さんと並んでいました。
宮崎の肉巻きおにぎりでした。

ぼーぺんにゃん

Vol.1



JICAデスク宮崎 国際協力推進員

田代 Tashiro

(元青年海外協力隊 看護師としてラオスで活動)

☎: 0985-32-8457

✉: jicadpd-desk-miyazakiken@jica.go.jp
URL: https://www.jica.go.jp/Kyushu/



ບໍ່ເປັນທັງໝົດ

「ぼーぺんにゃん」は、JICA や国際協力について様々なことを紹介していくコーナーです。

（「ボーペンニャン」は、ラオス語で「大丈夫」「気にしない」「なんとかなるさ」という意味）



「ボーペンニャン～ラオスのあいさつ～」

皆さん、初めまして。今年の3月よりJICAデスク宮崎・国際協力推進員を務めさせていただいております田代です。

「ボーペンニャン」とは、ラオス語で「大丈夫」「気にしない」「なんとかなるさ」という意味の言葉です。なんともかわいらしく面白いような響きのこの言葉ですが、ラオスで生活していてこの言葉を耳にしない日はありません。

私は青年海外協力隊員・看護師隊員として2011年9月から2年間ラオスのサイニヤブリー県にて活動していました。

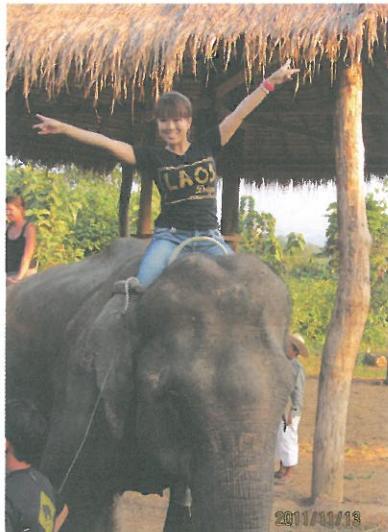
ラオスではお腹が空けばとろかまわずゴザを敷いて、青パパイヤサラダやココナツで作られた甘いおやつをみんなで食べ、眠くなればゴザの上に薄い布団を敷き老若男女が川の字になってお昼寝をする。そんな自由気ままな時間が流れるラオスでの生活。初めは、あまりにもゆっくりとした時間の流れに戸惑い、ひとりで焦ったり、苛立たしい気持ちになったのを思い出します。よくよく冷静に考えると「急がないといけない理由」なんてなかったりする訳なんですね。心にゆとりのない自分の姿にはっと気づかされた瞬間がありました。どんな時でも彼らは環境や時間の流れに身を任せ自然体で過ごしている印象です。

辛いことやうまくいかないことがあると、ラオスの人々は私の肩をたたきながら「ボーペンニャン！ボーペンニャン！（大丈夫、問題ないから！）」と励ましてくれます。

もはや挨拶代わりともいえるこの「ボーペンニャン」。私はこの言葉を言われると、不思議と何もかもうまく事が運ぶような気になるのでした。まるでおまじないのような言葉。私はラオス語でこの言葉が一番好きです。

私は2年間の活動や生活のなかで様々なことを学ばせていただき、貴重な経験を沢山させていただきました。ラオスという国、ラオスの人々が私は大好きです。世界の為に、日本の為に。そして身近で関わる人の為に…。私は何らかの形で自分が学ばせていただいたことを恩返ししていきたいと考えています。模索しながら日々を過ごしていますが、自分に出来ることをこれからも探し続けていきたいと思います。「自分にできる国際協力って何だろう。」そう思い始めることで国際協力への第一歩は始まっていると思います。皆さんも一緒に考えてみませんか？気になった方はカリーノ9階国際交流プラザにてお待ちしております。いつでもお気軽にお越しください。

一緒にお話しませう♪



2011/11/18

今後も、ラオスの文化や生活や食べ物、医療事情などの紹介をしていきたいと思います。

【JICA九州メールマガジン】

JICA九州はもとより、所属地区（福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県）で開催されるイベント情報など、さまざまな情報を毎月一回、お届けいたします。是非、ご登録ください。



<http://www.jica.go.jp/kyushu/mail/index.html>

「ある国に宮崎人がおったげな…」miten

各国で暮らした経験のある宮崎人が旅行では知ることのできないリアルな体験記をつづります。毎月続々更新中！
バックナンバーも是非ご覧ください。

WEB <http://www.miten.jp/miten/modules/popupblog/>



JICAの事業について質問などございましたら、(公財)宮崎県国際交流協会内JICAデスク宮崎までご連絡ください。

TEL.0985-32-8457 E-mail : jicadpd-desk-miyazakiken@jica.go.jp

宮崎県国際交流協会ニュース

次の講座を開催しました

日本語講座(初級) 宮崎市・前期

4月11日～7月18日

毎週火曜日・木曜日 全25回



後期は
9月開講!

初めて日本語を学ぶ外国人を対象に、宮崎での生活に必要な日本語力を身につけることを目的に開催しました。今回は6か国の外国人が参加し、時には教室の外に笑い声が聞こえてくるほど楽しみながら勉強していました。

第2回は
秋開催
予定!

第1回サタデー英語チャット

6月10日～7月8日 毎週土曜日 全5回

外国人ボランティアと英語で会話を楽しむサタデー英語チャットを開催しました。参加者の皆さんには、アメリカやニュージーランドなど英語圏の方だけではなくフィリピンやミャンマー出身の方とも交流していただきました。



国際ふれあいチャット 中国語

6月20日～7月18日 毎週火曜日 全5回



宮崎県国際交流員のカリッサ・ソーサン、そして中国出身のボランティアと中華圏の文化や生活について楽しく会話をしました。初級の方は日本語を交えながら、中上級レベルの方はほぼ中国語で積極的に話されていました。



日本語れんしゅう会

毎週水曜日・金曜日

通年
開講中!



日本語のレベルアップを目指す外国人を対象に通年開講している講座です。日本人ボランティアとともに、日常会話や漢字、また教科書を使って文法の勉強をするなど、それぞれのニーズに合わせた学習を行っています。

12月まで
月1回
開講中!

国際ふれあいチャット 韓国語

5月25日・6月22日・7月20日・8月24日

宮崎県国際交流員のイ・ユンジュさんや韓国出身のボランティアと、毎回様々なテーマに沿って韓国語でのおしゃべりを楽しみました。初級レベルの方から上級レベルの方まで毎回たくさんの方にご参加いただきました。



講座・イベントの詳しい内容につきましては、お気軽に(公財)宮崎県国際交流協会にお問い合わせください。また、本年度よりFacebookページを始めました!講座・イベントの開催状況もチェックすることができます。ホームページとあわせてぜひご覧ください。Facebookページにはホームページより移動することができます。協会ホームページ <http://www.mif.or.jp/>

◆今後開催予定のイベント・講座◆

- ◇日本語ボランティア入門講座
- ◇日本語講座(初級)宮崎市・後期
- ◇第2回サタデー英語チャット
- ◇国際ふれあいチャット 韓国語
- ◇在住外国人向け防災セミナー
- ◇外国人防災サポートボランティア養成講座
- ◇世界とトモダチみやざき国際フェスタ
(アートフェスティバル/日本語スピーチコンテスト)
- ◇国際理解講座

ちよつとひじいき

「時には列車でスローな旅を」

スタッフ オルセン 多香子



旅の手段にはいろいろありますが、私は列車の旅が一番好きです。飛行機では味わえない車窓からの移り変わる土地の風景、そして車内の解放感。

私の両親は車を持っていなかったため、当時住んでいた日南市から宮崎市へは必ず列車で1時間ほどガタンゴトンと揺られながら来ていました。乗る前に駅の売店で母が必ず買ってくれたお茶やお菓子も楽しみで、子供の私にはちょっとした旅だったと思います。そのせいでどうか、列車には特にノスタルジーを覚えるのです。

列車の旅が好きとはいえ、数多く体験したわけではありませんが、その中でも一番思い出深いのは小さい子供達を連れて家族5人で乗ったシベリア鉄道です。

新潟から2時間弱で着くロシアの東玄関ウラジオストクを始点にして、遙か西の彼方の終点首都モスクワまで、8日間に渡るユーラシア大陸横断鉄道の旅でした。

列車のトイレからは線路の枕木が見えるという旧式車両でしたが、子供の頃に慣れ親しんだ日南線を彷彿とさせ、ガイドブックによく書いてあった列車の振動や車輪の音に対するマイナス評価など少しも気にならず、かえって懐かしい感じすら持ちました。

車窓からの眺めは実に壮大で、最初の3、4日ほどは行けども行けども、日が沈んでまた昇っても、延々と続くただだい大陸の地平線にロシアの巨大さを感じました。

停車する駅では、マトリョーシカのようなおばちゃんたちがライ麦パンやピロシキ、干し魚など、長旅の乗客が必要なものを大声で売りさばき、見るだけでもワクワク楽しい風景でした。

同じ車両の乗客はほとんどがウラジオストクの地元の人達で、モスクワの家族に会いに行くという理由がその大半を占めていたので、私達のような外国からの旅行者、それも小さい子供を3人も連れた家族はみんなの関心的になりました。特に3歳だった娘ちゃんの息子はあつという間に車両内のご婦人の方の人気者になってしまい、そのお蔭で私達大人も身振り手振りながらも容易に交流ができたように感じます。

あの時に出会った人達は、今もロシアのどこかでそれぞれの暮らしを営んでいるのだろうな、と思いを馳せる時、この大きな地球の異國の大陸で出会った一期一会の思い出が、ロシアという近いよう遠い国を私の五感を通して身近に蘇えさせてくれます。

またいつか機会があれば再び乗ってみたい鉄道です。



INFORMATION

外国人のための日本語講座(初級) ※要申込み

県内在住の外国人の方を対象に日本語の初級講座を開催します。是非ご参加ください。

【対象】宮崎県に住む外国人

初めて日本語を学ぶ方

日本語の「よむ」「かく」を学びたい方

【日 時】平成29年9月7日(木)スタート 全25回
毎週火曜日・木曜日 10:10~12:00

【場 所】カリーノ宮崎9階 会議室

【受講料】無料

【教科書代】2,160円(税抜)

【申込方法】所定の申込用紙に記入し、来館、郵送またはFaxにてお申し込みください。

【申込先】(公財)宮崎県国際交流協会

外国人のための日本語れんしゅう会

日本人ボランティアと日本語の学習をします。通年開講しており、いつでも参加することができます。

【対象】宮崎県に住む外国人

【日 時】毎週水曜日・金曜日 10:30~11:30

【場 所】カリーノ宮崎9階 会議室

【受講料】無料

【問い合わせ】(公財)宮崎県国際交流協会

日本語ボランティア紹介

日本語講座やれんしゅう会に参加できない方に、日本語ボランティアを紹介します。学習場所や時間、内容は当人同士で決めます。

【対象】宮崎県に住む外国人

【問い合わせ】(公財)宮崎県国際交流協会

第12回アートフェスティバル ～外国人が見た宮崎作品展～作品募集

【テー マ】「宮崎」

【展示期間】平成29年12月6日(水)~12月9日(土)

【場 所】カリーノ宮崎9階(予定)

※アートフェスティバル終了後、県内数ヶ所にて巡回展示を開催予定

【応募資格】原則として宮崎県に住んでいる外国人、または外国人にルーツのある方

【部 門】写真・絵画・書道・手工芸・その他

【出品点数】各部門とも1人2点以内

サイズ:50cm×50cm以内

※詳細についてはお問い合わせください。

【応募方法】郵送、持参、またはE-mail

【応募締切】平成29年11月11日(土)

【問い合わせ】(公財)宮崎県国際交流協会

世界とトモダチみやざき国際フェスタ ボランティア募集!

12月開催予定の「世界とトモダチみやざき国際フェスタ」のお手伝いをして下さる方を募集しています。国際交流やボランティアに興味がある方はぜひ一度お問い合わせください。

【日 時】平成29年12月9日(土)

10:00~18:00のうちの数時間(予定)

【場 所】カリーノ宮崎9階 イベントスペース(予定)

【内 容】ステージイベント補助、各ブース受付等

【問い合わせ】(公財)宮崎県国際交流協会

 **SouthWind** サウスウインド Sep.2017 Vol.91

企画・編集 公益財団法人 宮崎県国際交流協会 第91号 2017年9月発行

〒880-0805 宮崎市橘通東4-8-1 カリーノ宮崎9階 TEL.0985-32-8457 FAX.0985-32-8512

● URL <http://www.mif.or.jp/> ● E-mail miyainfo@mif.or.jp

情報・意見などを寄せください。

外国人との交流会など、国際交流に関する催しを計画している団体やサークルの情報を待っています。

また、国際交流に関する話題や体験談、意見なども協会にお寄せください。本誌に対する要望もお待ちしております。

